

會報

平成 29 年 11 月 22 日 発行

第 68 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 山 縣 正 庸

発行所：事務局 中 川 照 彦

〒130-8587 東京都墨田区横網 2-1-11

同愛記念病院整形外科内

関東地区整形外科勤務医会

電話 (03) 3 6 2 5 - 6 3 8 1

FAX (03) 5 6 0 8 - 3 2 1 1

巻頭言

整形外科手術症例登録について

千葉労災病院

山 縣 正 庸

前号でも手術症例登録についてを話題に上げました。いよいよ整形外科においても実現に向けて動き出そうとしています。数年前には NCD(National Clinical Database)に参加しようとする動きがあり、また実際に NCD から誘われたそうですが参加しませんでした。如何せん、参加するための登録料が高額で、また折角データを登録してもそのデータを使用して疫学研究をしようとするときにさらに費用がかかる、また自由には使用できない規定があるようです。外科学会では手術症例の全例登録を行っています。学会によってはある疾患に限った手術症例登録であったり、また最近では脱退した学会もあり、足並みが完全に揃っている訳ではありません。学会毎に独自の事情がある事と思われま。我々整形外科も学会員こそ 24000 名を超えますが、全会員が手術を行っている訳ではありません。しかし、前号で述べたように手術データベースを所持しているか否かは手術を行っている整形外科医にとって非常に重要な問題になります。今後の展開によっては死活問題になります。日整会ではこの 5 月から新理事体制になりましたが、山崎正志理事長は今期の理事会の目標としてデータベースの作成を目標に掲げてく

主要目次

1. 巻頭言	山 縣 正 庸	1
2. 大腿骨近位部骨折の立体的形状と転子部骨折に対する治療戦略	前 原 孝	2
3. 大腿骨頸部骨折に対する骨接合術	野々宮廣章	3
-ハンソンピンおよびハンソンピンロックについて-		
4. 平成 29 年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任監事会議事録		5
5. 平成 29 年度関東地区整形外科勤務医会総会議事録 (平成 29 年 6 月 10 日)		6
6. 平成 28 年度事業報告		6
7. お知らせ		10
8. 編集後記		11
9. 入会のご案内		12

れています。以前にあった整形外科症例調査・検討委員会を立ち上げ活動を再開させました。担当理事は慶応大学の松本守雄教授、委員長は獨協大学の種市洋教授です。委員会のメンバーには人工関節学会、骨折治療学会、脊椎インストルメンテーション学会、骨関節感染症学会、JOSKAS など既に症例登録を開始している学会の委員の先生が含まれています。各分野の学会で何をどれだけ登録するか、また費用はどれだけ負担できるか、学会により異なりますが、ここは各学会が取り組むより、日整会として横断的に取り組んだ方が効率が良く、入力負担や、何と言っても費用の軽減がはかれるでしょう。既にNCDやNCD加盟学会にヒアリングを行い、日整会としての手術登録をどのように進めるか検討中です。費用はもちろんの事、入力に際しては各施設での負担が生じます。できるだけ医師に負担にならないように体制を整える必要があります。勤務医で手術を多くなさっている病院では是非、医師事務作業補助者の育成をお願いします。北欧では国家事業として登録制度があるのに我が国ではそれができていません。学会単位でがんばれという事でしょうか。手術症例の登録のためには何らかの事務作業が発生します。研修医、その他の医師にさせる事が無いように、多忙な医師に事務処理をさせる事が無いように登録制度が始まる事を願っています。

大腿骨近位部の立体的形状と転子部骨折に対する治療戦略

香川労災病院 整形外科

前原 孝

1990年代に導入されたGamma nailの普及によって、わが国における大腿骨転子部骨折の治療は大腿骨近位部専用の髓内釘（Short Femoral Nail:以下SFN）を用いた内固定が最も多く行われる治療法となった。そしてその多くが若手医師によって執刀されているのが現状と思われる。

SFNが優れたインプラントであることに疑いはないが、SFNを用いた症例にわずかながら成績不良例が存在することも事実である。SFNを用いて骨接合術を施行する際には「インプラントの設置位置が重要」と言われるが、大腿骨の形状には個人差があり、同じインプラントを用いても同じ位置に設置できるとは限らない。現在国内で使用可能な機種は20種類以上と言われており、機種を選択する基準の一つとして日本人の骨格に対する適合性は考慮されるべきポイントである。また、最近では整復位についても様々な考え方が示され議論のポイントとなっている。そもそも大腿骨転子部骨折に対する髓内釘固定は「インプラントを入れて骨折部を強固に固定すれば良い」という手術ではなく、あくまでも「骨接合術」である。骨接合術の目標は骨癒合であり、骨接合術を成功に導くには骨折部を骨癒合しやすい状態にすることが重要である。

本骨折に対する骨接合術で重要な点は①骨折部を骨癒合しやすい位置関係に整復すること、②適切なインプラントでその位置関係を維持すること、この2点に集約される。①を実現するためには各骨片の形態や骨折部の転位を術前に把握し、整復操作が必要か否か、整復する場合その手段や目標とする整復位はどんな状態なのか、またそれらを術中にどうやって確認するかなど、詳細に計画しておく必要がある。そして同時に適切なインプラントを選定して準備することによって②も達成することが可能となる。

手術を含めた治療を成功に導くためには「骨折していない」大腿骨の形態や周囲の解剖を理解しておくことが重要と考えている。3D-CTを撮影することによって得られる情報は大腿骨の正常形態や骨折型を理解するために非常に有用であり、積極的に活用するべきツールと位置づけている。当院において3D-CTを利用して日本人高齢女性大腿骨の形態的特徴を調査してインプラントとの適合性に影響をあたえる因子について検討し

た。また、この調査に際してインプラントの設置位置を重視した基準面を定義して計測を行ったので、その基準面の意味や計測結果から得られた問題点を提示しながら、大腿骨頸部骨折に対して骨接合術を施行する際の注意点や、演者が行っている工夫について紹介させていただく。

大腿骨頸部骨折に対する骨接合術

—ハンソンピンおよびハンソンピンロックについて—

静岡赤十字病院

野々宮 廣 章

ハンソンピンは遠位ピンが歩行時の荷重に対して骨頭が内反するのを支え、近位ピンが立ち上がり動作時の骨頭が後捻するのを支え、2本のピンで大腿骨頸部骨折の骨接合が行えるインプラントである。フック構造が骨頭での骨把持力に優れており、1本のハンソンピンはフックを出すことで仮想の三角平面を作る。したがって、2本のハンソンピンで固定することで三平面を組んだ三角柱の立体構造で頸部骨折を固定することが可能となるとしてきた。しかし、この仮想の三角柱には欠点があり、大腿骨が外側皮質部では一平面の要素が残っており捻れに弱い欠点があった。この欠点を補うためには、頸部内側髄内皮質での支持が重要であった。頸部髄内皮質に接して固定するための補助器具・技術として野々宮ガイド・リバーズドリリングテクニックを開発した。しかし、この欠点のため、術者間での治療成績の差を生じてしまうこととなった。その結果、ハンソンピンは難しいインプラントと言われるに至った。ピンロックはハンソンピン3本をプレートで固定し3本が一体となる構造をしている。この構造によりハンソンピンの欠点は解消され完全な仮想三角柱の立体構造により固定することが可能となった。さらに、3本をプレートで束ねることで、これまでの頸部骨折インプラントに無いコンセプトが生まれた。これまでのインプラントは、1本ずつがそれぞれバラバラにスライド(テレスコープ)する構造である。そのために、荷重の集中するスクリューやピンがテレスコープすると次に荷重が集中するスクリュー(ピン)が次々にテレスコープを起し骨折部の転位につながった。これが、これまでの頸部骨折インプラントの最大の欠点であった。この欠点を解消したことがピンロックの最大の特徴であり、このインプラントのコンセプトである。私は、ピンロックを得たことでハンソンピンではできなかったことに挑戦することにした。それが、「非転位骨折も整復固定をする」である。非転位型(Garden stage 1)は不全骨折であり整復せず *in situ* 固定とされてきた。しかし、非転位型の中にも予後不良例が多くありCT像を見ると、X線像では不全骨折と見られるものに完全骨折が多く含まれ、当院の山本によると後捻の大きい症例で完全骨折となっていることが多かった。これらのことより当院では、非転位型に対して牽引し内旋位で後捻が残存する症例では前方からゆっくり頸部を押し5度以内の後捻整復を行っている。外反の残存に関しては15度まで許容している。手術適応は、非転位型は関節疾患のない限り全例、転位型は暦年齢75歳以下の症例および全身状態の悪い症例に実施している。後療法は、50歳以下の症例では4週間の免荷期間を設定しているが、その他の症例では荷重制限を実施していない。手術翌日より本人の痛みに合わせて全荷重を許可している。歩行能力再獲得に関して、ハンソンピンが約4週で杖歩行ないし独歩が可能となるのに対して、ピンロック症例ではおよそ2週間で杖歩行・独歩が可能となり自宅退院となる症例が多くなった。

平成 29 年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会議事録

出席幹事・常任幹事 40名 (順不同、敬称略)

秋山典彦、浅野 聡、浦部忠久、小森博達、佐々木孝、中川照彦、松原正明、田中利和、飛松好子、原田 繁、三上容司、進藤重雄、杉山 肇、眞塩清、新井嘉容、原田義忠、土屋正光、平泉 裕、清水健太郎、有馬 亨、平野 篤、石橋英明、岩部昌平、穂積高弘、亀山 真、篠崎哲也、三原久範、山縣正庸、泉田良一、井上元保、村松俊樹、木村雅史、坂根正孝、小柳貴裕、鎌田修博、伊室 貴、落合直之、岡崎裕司、江畑 功、岩瀬嘉志

日時：平成 29 年 6 月 10 日 (土曜日)

場所：A P 東京八重洲通

報告事項

- 1 理事会報告 山縣先生より報告、専門医制度について三上先生より追加報告。
- 2 ホームページについて 江畑先生より報告 年 2 回研修テーマ募集
- 3 会報について江畑先生より報告 5 月発行、幹事会議事録を中心に掲載、2 回/年発行予定、幹事への配布現在 2 部から 3 部へ増刷
- 4 新常任幹事(内定)
平泉 裕 先生 (品川志匠会病院・昭和大学 整形外科客員教授)
伊室 貴 先生 (厚木市立病院整形外科部長)
石橋 英明 先生 (伊奈病院 整形外科部長)
新井 嘉容 先生 (埼玉県済生会川口総合病院 整形外科主任部長)
松原 正明 先生 (日産玉川病院 副院長)
挨拶と自己紹介
清水健太郎 先生 (佐野厚生病院 副院長)
挨拶と自己紹介
坂根 正孝 先生 (筑波学園病院 整形外科・リハビリテーション科部長)
挨拶と自己紹介
原田 義忠 先生 (千葉県済生会習志野病院 副院長)
挨拶と自己紹介
山本 精三 先生 (虎の門病院 整形外科部長)

- 5 第 66 回東日本整形災害外科学会でのシンポジウム 山縣先生より紹介

(2017 年 9 月 15-16 日 京王プラザホテル)

会長 杏林大学整形外科学教室教授

市村 正一先生)

現時点でのシンポジウム案

テーマ：サージカルトレーニングの現状と課題

座長 千葉労災病院 山縣正庸、同愛記念病院 中川照彦

演者

杏林大学 演者未定

千葉大学 解剖学教室 鈴木崇根先生

名古屋市立大学 統合解剖学分野 先端医療技術イノベーションセンター 植木孝俊先生

山梨大学 日整会 脊椎脊髄病委員会 江幡重人先生

東京医科歯科大学 JOSKAS 関節鏡 宗田大先生

審議事項

- 1 平成 28 年度事業報告・平成 29 年度事業予定案 事務局より報告され承認された。
- 2 平成 28 年度収支決算書、平成 29 年度予算 事務局より報告された。
土屋先生より会計監査、問題無く適正との報告があり承認された。
- 3 本日の総会の議長・副議長選出が選出された
議長 東埼玉総合病院 浅野 聡先生
副議長 真木病院 篠崎 哲也先生
- 4 次回教育研修会の演者 2 名の人選 村松先生より提案
平成 28 年 12 月 9 日 (土曜日) 16:00~18:00
座長は下記のように選定された
演者：中島康晴先生 九州大学整形外科教授
推薦者 杉山 肇先生
⇒座長：神奈川リハビリテーション病院 杉山 肇先生
演者：岩瀬嘉志先生 順天堂江東高齢者医療センター 推薦者 楠瀬 浩一先生
⇒座長：東京労災病院 楠瀬 浩一先生

- 5 新幹事の推薦
上田誠司先生（川崎市立川崎病院の整形外科部長）堀内先生、小柳先生より推薦され内諾された。
- 6 新常任幹事の推薦
寺内正紀先生（JCHO 群馬中央病院 副院長）眞塩先生より推薦され内諾された
- 7 その他
来年度6月総会・研修会が6月2日（土）AP 東京八重洲1 1Fに決定された。

- 新井 嘉容 先生（埼玉県済生会川口総合病院 整形外科 主任部長）
松原 正明 先生（日産玉川病院 副院長）
清水 健太郎 先生（佐野厚生病院 副院長）
坂根 正孝 先生（筑波学園病院 整形外科・リハビリテーション科部長）
原田 義忠 先生（千葉県済生会習志野病院 副院長）
山本 精三 先生（虎の門病院 整形外科部長）
寺内 正紀 先生（JCHO 群馬中央病院 副院長）
上記10名全員の常任幹事就任が承認された。

4 新幹事の承認

- 上田 誠司 先生（川崎市立川崎病院 整形外科部長）
上記1名の幹事就任が承認された。

平成 29 年度

関東地区整形外科勤務医会総会議事録

(平成 29 年 6 月 10 日)

- ・議長、副議長選出 浅野 聡先生・篠崎哲也先生
- ・定数報告 出席 48 名、委任状 121 名
(会員数 393 名 定足 1/10 以上)

会員数 393 名 (入会 28 名、退会 18 名)

決議事項

- 1 平成 28 年度事業報告・平成 29 年度事業予定案 事務局より別紙にて報告し承認された。
- 2 平成 28 年度収支決算報告・平成 29 年度予算案 平成 28 年度収支決算報告事務局より報告された。
会計監査土屋先生より会計は適正とされ承認された。
平成 29 年度予算案事務局より報告され承認された。
- 3 新常任幹事の承認
平泉 裕 先生（品川志匠会病院・昭和大学整形外科客員教授）
伊室 貴 先生（厚木市立病院整形外科部長）
石橋英明 先生（伊奈病院 整形外科部長）

平成 28 年度事業報告

平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日

- | | | |
|-------|-----|---|
| 会報発行 | 2 回 | 平成 28 年 11 月 25 日発行 (第 66 号)、平成 29 年 5 月 22 日発行 (第 67 号) |
| 総会 | 1 回 | 平成 28 年 6 月 4 日 |
| 幹事会 | 2 回 | 平成 28 年 6 月 4 日、同年 12 月 17 日 |
| 常任幹事会 | 4 回 | 平成 28 年 6 月 4 日、同年 10 月 3 日、同年 12 月 17 日、平成 29 年 3 月 13 日 |
| 教育研修会 | 2 回 | 平成 28 年 6 月 4 日、同年 12 月 17 日 |

第 62 回 教育研修会 平成 28 年 6 月 4 日

【演題 1】 座長 穂積高弘先生

演者：五嶋孝博先生

がん・感染症センター都立駒込病院 整形外科・骨軟部腫瘍科部長

演題名：外来での骨・軟部腫瘍診療のポイント

【演題 2】 座長 山縣正庸先生

演者：井上清成先生弁護士、井上法律事務所所長

演題名：医療事故調査制度の実務運用ポイントと書式 — 医師法第 21 条「異状死体の届出」と比較しつつ—

第 63 回 教育研修会 平成 28 年 12 月 17 日

【演題 1】 座長 鈴木信正先生

演者：大阪南医療センター免疫疾患センター
橋本淳先生

演題名：「百歳まで骨折なしでいけますよ」

【演題 2】 座長 三上容司先生

演者：三井記念病院 星地亜都司先生

演題名：頸椎症頸椎ヘルニアをどう診るか

演題名：大腿骨頸部骨折に対する骨接合術
—ハンソンプインおよびハンソンプインロックについて—

第 65 回 教育研修会 平成 29 年 12 月 9 日

【演題 1】 座長

演者：中島康晴先生 九州大学整形外科教授

演題名：

【演題 2】 座長

演者：岩瀬嘉志先生 順天堂江東高齢者医療セン
ター

演題名：

全国整形外科保険審査委員会委員会議

平成 28 年 9 月 11 日

日本整形外科勤務医会総会 平成 29 年 5 月 17 日

外保連総会、実務委員会、手術委員会、検査委員会、
処置委員会

内保連

日整会社会保険委員会

全国整形外科保険審査委員会委員会議 平成 29 年
9 月 10 日

日本整形外科勤務医会総会 平成 30 年 5 月 23 日

日整会総会シンポジウム（日本整形外科勤務医会提
案）

外保連総会、実務委員会、手術委員会、検査委員会、
処置委員会

内保連

日整会社会保険委員会

平成 29 年度事業計画（案）

平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日

会報発行	2 回	
総会	1 回	平成 29 年 6 月 10 日
幹事・常任会幹事会	2 回	平成 28 年 6 月 10 日、同年 12 月 9 日
常任幹事会	4 回	平成 29 年 6 月 10 日、同 年 10 月 16 日、同年 12 月 9 日、平成 30 年 3 月
教育研修会	2 回	平成 29 年 6 月 10 日、同 年 12 月 9 日

第 64 回 教育研修会 平成 29 年 6 月 10 日

【演題 1】 座長 佐々木 孝先生

演者：前原 孝先生 香川労災病院 整形外科長

演題名：腿骨近位部の立体的形状と転子部骨折に
対する治療戦略

【演題 2】 座長 岩部昌平先生

演者：野々宮廣章先生 静岡赤十字病院 整形外
科部長

平成28年度 収支決算書

平成28年6月1日～平成29年5月31日

[収入の部]

[単位：円]

項目	予算額	決算額	増減	付記
前年度繰越金	6,412,265	6,412,265	0	
会費	1,000,000	780,000	▲220,000	
利子	1,000	28	▲972	
研修会費	150,000	226,000	76,000	
広告費	0	0	0	
幹事会費	350,000	134,000	▲216,000	
合計	7,913,265	7,552,293	▲360,972	

[予算に対して収入減：▲]

[支出の部]

[単位：円]

項目	予算額	決算額	増減	付記
幹事会費	300,000	389,970	89,970	
総会研修会費	700,000	595,500	▲104,500	
会報	130,000	124,038	▲5,962	
会員名簿	0	0	0	
日本整形外科 勤務医会費	500,000	390,000	▲110,000	
通信費	210,000	279,235	69,235	
事務人件費	100,000	100,000	0	
HP運営費	180,000	152,280	▲27,720	
雑費	100,000	798	▲99,202	
小計	2,220,000	2,031,821	▲188,179	
次年度繰越金	5,693,265	5,520,472	▲172,793	
合計	7,913,265	7,552,293	▲360,972	

[予算に対して支出減：▲]

平成29年度 予算書(案)

[収入の部]

[単位：円]

項目	本年度予算額	前年度予算額
会費	1,000,000	1,000,000
利子	1,000	1,000
研修会費	150,000	150,000
広告費	0	0
幹事会費	350,000	350,000
小計	1,501,000	1,501,000
前年度繰越金	5,520,472	6,412,265
合計	7,021,472	7,913,265

[支出の部]

[単位：円]

項目	本年度予算額	前年度予算額
幹事会費	400,000	300,000
総会研修会費	600,000	700,000
会報	130,000	130,000
日本整形外科 勤務医会費	500,000	500,000
通信費	300,000	210,000
HP運営費	160,000	180,000
事務人件費	120,000	100,000
雑費	10,000	100,000
小計	2,220,000	2,220,000
次年度繰越金	4,801,472	5,693,265
合計	7,021,472	7,913,265

関東地区整形外科勤務医会

常任幹事会議事録

日時:平成29年10月16日 月曜日 19:00~20:00

場所:AP東京八重洲通

出席者(敬称略、順不同)

落合 直之 川井 章 楠瀬 浩一 篠崎 哲也
土屋 正光 佐々木 孝 平野 篤 堀内 行雄
村松 俊樹 星川 吉光 江畑 功 山崎 隆志
杉山 肇 中川 照彦 木村 雅史 三上 容司
進藤 重雄 石橋 英明 原田 繁 河内 敏行
岩瀬 嘉志 穂積 高弘 早稲田明生 小柳 貴裕
岡崎 裕司 眞塩 清 山本 精三 寺内 正紀
鎌田 修博 松田 達男 浦部 忠久 伊室 貴
山縣 正庸 亀山 真 新井 嘉容 別府 保男
大江 隆史 田中 利和

出席者 38名

議 題

【報告事項】

1 理事会報告

山縣先生より

- ・日整会総会の参加費が来年から事前登録21,000円、当日登録24,000円になる。
- ・教育研修単位の認定に関して、現在の5か月前の20日申請から2018年4月1日以降の開催は3か月前の20日より受付に変更。
- ・専門医制度に関して
- ・医療者被曝に関して(鎌田先生から追加)

2 関東地区整形外科勤務医会(第65回教育研修会)

平成29年12月9日(土)16:00~18:00

AP東京八重洲通7F

演題1

座長:東京労災病院副院長 楠瀬浩一先生

講師:順天堂江東高齢者医療センター准教授

岩瀬嘉志先生

演題名:整形外科医のための保険請求基礎知識と最新の審査解釈

必須分野:[14-4]

演題2

座長:神奈川県リハビリテーション病院院長

杉山 肇先生

講師:九州大学大学院医学研究院整形外科教授

中島康晴先生

演題名:成績不良例に学ぶ股関節手術

必須分野:[3] [11] [Re]

3 来年の関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会、総会、第66回教育研修会の日時、場所

日時:平成30年6月2日(土)

場所:AP東京八重洲通

14:30~15:20 幹事・常任幹事会

15:30~15:50 総会

15:50~16:00 情報提供共催メーカーより1演題

16:00~18:00 第66回教育研修会 2演題

18:00~ 情報交換会

4 ホームページ・会報

江畑先生より会報出版予定等報告

5 ロコモ チャレンジ! 推進協議会の活動報告会

大江先生より報告

平成29年7月28日

出席者:大江隆史先生(委員長)、三上容司先生、泉田良一先生、石橋英明先生

6 第66回東日本整形災害外科学会でのシンポジウムの報告

山縣先生より報告

平成29年9月16日(土) 9:50~10:50

京王プラザホテル 第2会場

主題 10 サージカルトレーニングの現状と
課題

座長：山縣正庸先生、中川照彦先生

1. 千葉大学大学院医学研究院環境生命科学
鈴木崇根先生
Cadaver Training はどこまで普及したか
～千葉大学の試み～
2. 慈恵医大柏病院 稲垣直也先生
大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術の
ラーニングカーブ
3. 東大和病院 星 亨先生
骨折治療におけるサージカルトレーニング
の現状と課題
4. 山梨大 江幡重人先生
脊椎内視鏡手術におけるサージカルトレーニングの現状と課題
5. 国立病院機構災害医療センター
宗田 大先生
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会に
よる関節鏡技術認定制度の立ち上げ
6. 外保連関係
原田先生より報告、亀山先生より補足。
7. 内保連関係
特になし

【審議事項】

- 1 監事退任に関して
土屋正光先生が監事退任を希望
全会一致で承認
- 2 新監事選出に関して
候補者 楠瀬浩一先生 土屋正光先生か
らの推薦
全会一致で承認
- 3 新常任幹事選出に関して
大野隆一先生（越谷市立病院 副院長・整形外科部長） 浅野 聡先生からの推薦
全会一致で承認（内諾）
富田善雅先生（東京労災病院 整形外科部長）
楠瀬浩一先生からの推薦

全会一致で承認（内諾）

- 4 第66回教育研修会（平成30年6月2日土曜日）
の演者の選定に関して

教育研修委員会 委員長 村松俊樹先生から
説明
候補者と演題名（仮）

1. 熊井司先生（早稲田大学スポーツ科学院教授）：足の外科関係（アキレス腱障害か？）
全会一致で承認
 2. 黒澤尚先生（順天堂大学特任教授）：膝 OA
の保存療法
全会一致で承認
- 5 第67回教育研修会（平成30年12月の土曜日）
の日取り
決定 日程12月15日（土）
場所 AP 東京八重洲通り
 - 6 その他
武蔵野日赤の山崎先生より医師の働き方改革
に関して

お知らせ

第65回 日整会認定教育研修会の御案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会及び教育研修会を開催いたします。なお、研修会の出席予約は要りません。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。会終了後、懇親会も予定しております。

記

日 時：平成29年12月9日（土） 開始時間は下記ご参照ください。

会 場：AP東京駅八重洲通り 7F

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目10-7号

TEL 03-6228-8109 (当日連絡先)

幹事会：15:00～15:45

教育研修会：15:50～18:00

【教育情報提供】『医療用貼付剤（パップ剤・テープ剤）』帝國製薬（株）製品情報室

演題Ⅰ 座長：東京労災病院 副院長 楠瀬 浩一 先生

演題：整形外科医のための保険請求基礎知識と最新の審査解釈 [14-4]

演者：順天堂東京江東高齢者医療センター整形外科 科長 岩瀬 嘉志 先生

演題Ⅱ 座長：神奈川リハビリテーション病院 病院長 杉山 肇 先生

演題：成績不良例に学ぶ股関節手術 [3] [11]Re

演者：九州大学院医学研究院 整形外科 教授 中島 康晴 先生

受講料：1題 ¥1,000— (単位取得者のみ)

懇親会：会終了後情報交換の場を設けております。

共 催：関東地区整形外科勤務医会

帝國製薬株式会社



事務局から

「消費税の使い方を考えるために」という名目で、あわただしく解散・総選挙が行われました。もちろん解散するにはそれ以外の名目もあったでしょうが、野党のゴタゴタに乗じて与党の思惑どりの結果となりました。そもそも消費税の導入時に「社会保障の充実のために」という大きな理由が掲げられていたと記憶していますが、今回もまた同じ名目で選挙をするということに違和感を感じたのは私だけでしょうか。

どこの病院でも薬品や医材費の「消費税 8%」にいまだに苦労させられていると思いますが、「10%」になる時もそのままということなのでしょうか。来年は診療報酬改定を迎えますが、医療費削減の方針は明確なようで、さらに厳しい病院経営を迫られることになるようです。これでは「社会保障の充実」からどんどん遠ざかるような気がしてなりません。

せめて勤務医どうして連携し、迫りくる難局を乗り越えるための知恵を出し合っていきたいものです。

今年6月の研修会でも非常に多くの先生方に参加していただき、大盛況でした。今回もその時の講演抄録をいただき、掲載させていただきました。来る12月の研修会には、ぜひ若手の先生方にも声をかけていただき、さらに盛況になることを期待したいと思います。またその際は、ぜひ勤務医会の会員になるようにお話しいただけるよう、お願いいたします。ホームページ (<http://www.osnka.jp/index.html>) も少しずつですが更新しており、各病院のホームページにもリンクしています。万一掲載漏れや変更等ありましたらご連絡ください。今後さらに充実させていきたいと考えておりますので、会員の皆様のご意見をお寄せください。

(文責 江畑)

入 会 申 込 書

平成 年 月 日

(フリガナ)
御 氏 名

生 年 月 日

(大正・昭和) 年 月 日

現 住 所

〒 _____

TEL _____

勤 務 先 名 称

勤 務 先 住 所

〒 _____

TEL _____

FAX _____

e-メール _____

役 職 名

出 身 大 学

卒 業 年 度

出 身 教 室

入会申込み送り先

〒130-8587 東京都墨田区横網2-1-11

同愛記念病院整形外科

関東地区整形外科勤務医会

事務局代表 中川 照彦

TEL 03-3625-6381

FAX : 03-5608-3211